

【仏像鑑賞Ⅲ】 尾張・退休寺の平安仏を訪ねる

講師：小野佳代（東海学園大学人文学部准教授）

講座内容：

尾張国の国府が置かれていた稲沢市周辺に古仏が多いことはよく知られていますが、その他の尾張地域にも平安時代にさかのぼる仏像が伝来しているのはご存知でしょうか。春日井市の退休寺には、近年の調査で平安仏が4体も現存していることがわかり、いずれも市の文化財に指定されました。中でも本尊の阿弥陀如来像は像内から久安二年（1146）の造像銘が発見され、話題となりました。今回の講座では、まず尾張地域の仏像の特色、退休寺の仏像の美術史的な位置づけを確認してから、退休寺を訪ねて平安仏と出会います。



日程（全3回）全回参加が原則

回	開催日	時間・場所	講座内容
1	2月26日（水）	10時40分～12時10分 東海学園大学名古屋キャンパス	尾張地域の仏像の特色 -中央と地方-
2	3月4日（水）	10時40分～12時10分 東海学園大学名古屋キャンパス	退休寺の仏像の美術史的な位置づけ
3	3月11日（水）	10時30分～11時30分 退休寺（春日井市大泉町1028-4）	退休寺の平安仏を訪ねる 阿弥陀如来坐像、阿弥陀如来立像、地藏菩薩立像 ※観音菩薩立像は秘仏のため拝観できません。

◎3回目は現地(退休寺)集合、現地解散です。

募集人員：25名 ※先着順 受講料：500円（全3回分）

申込方法：

下記必要事項を明記し、メールまたはFAXにてお申込みください。

<メール> ext@tokaigakuen-u.ac.jp

<FAX> 052-801-1292

【お問い合わせ先】 東海学園大学 地域連携課（電話）052-801-1273

きりとり

現地を訪ねるシリーズ 第6弾【仏像鑑賞Ⅲ】尾張・退休寺の平安仏を訪ねる（2020.2）

氏名	電話番号
フリガナ	
住所	
〒	